

日本語の個性(3)

段落とパラグラフ

お山端さん

「乱暴だ。これのことをする、おどろいた」  
アメリカ人教師が教室から帰ってくるなり  
憤慨している。

わけを訊いてみると、日本語を英語に訳す  
クラスで、学生が原文のパラグラフを勝手に  
切り分けて早急している。なぜこんなことをし  
たのかさいても、質問の意味がよくわから  
ないらしい、と嘆いた。

このアメリカ人母日本語が達者なのだから、  
日本人がパラグラフに弱いのは、  
~~知らない~~ 知らないの

知らないの

である。

これは大学院で日仏語の研究をしている学生のはなし——

飯沼の本質を明らかなにしようとして、この学生は、何年分~~か~~が朝日新聞の社説のすべりに当たった。分析して飯沼の清別のようなものを引き出そうとしたがしい、時間をかけて苦労したにもかかわらず、やむと失敗に終わった。

筆者によつて、ふとりふとりの飯沼のとり方

が異なっている、共通性が乏しい。混乱して  
いるということがあるかたといふ。

かいた新聞で傾落の研究をしようといふ  
のが間違っている。新聞はあくまで、記  
事の傾落がはっきりするようになるたの比  
較的近年のこと。ちなやかに終戦の当日の新聞  
を見ると、傾落がいついていたり、いなかっ  
たりないまいになっという。文まの句はつ  
いてない。

新聞に比べて、学校は新しいふん進歩的こ

明治二十年代の文部省料評者には假落が導入  
 されてゐる、その啓蒙の効果は女から変か  
 たのは、日本橋の伝統にするのかもしれない  
 源知知徳日けむろんのこと、西鶴たつと假  
 落かない、えんえん綿々と読んがの日本語だ  
 いくろ外国ではハラゴフかあるからとい  
 つて、おいそれとそを真似るわけがわけがな  
 い。假落をっけてみても、とうもろしつくりし  
 ない。さういう意識が起かなく致つていたと  
 想像される。新聞はそれに便乗して無假落をっ

H ← ← ←

かけたといろわけである。いま各紙一面下の  
のコラムは無極限のヘリヲ結をつけている。  
空室が互との文章の極限を切り離すという  
ひろくことばをいひあひする。

改変のハウカフはばつきりした構造と  
組織がある、典型的なのはA・B・Cの三部  
に分れる。△は一時的、抽象的を書き方とし  
てあり、Bはその身像例などかのやうなる。  
Cはまた抽象的表現に戻って締めくくる。こ  
の三者が同心円のやうに重なるのがよいとせ

5

10

15

20

5

れる。

外国人のこの構造に不案内だ、友の可  
るとひひい目にある。以前、大学の時に英文  
和訳の問題が必ず出た。その答案を提出して  
い、~~お~~あとしろいことに気付く。さきのAの  
却りの原文の語を訳すの線が狂まるとして  
美心のあとを留めていいる。そんなが穴を破  
に矢張りするのひあるが、Bへ行けばあがりや  
すい、そこかう帰ってみればAもあがる。A  
Aはまうル、~~失敗~~失敗するやである。

失敗

いまは、叙法のよい文章は、早くなくとも  
法にはない。しかし、改文のハラハラ  
フと改述い、性根がよいまいである。二五  
十なかう三有るくらいで陥落を改めるように  
指示する国語教所は親即を方い、なにも云ふ  
ずには文をさせるが普通である。どうして  
モ形式陥落の末輩になつてしまふ。文章が著  
けるころのうひ論議委員になつた人たちの著  
く秘説がハラハラスのよいまゝな文章になる  
のは是非もない。



英文のパラグラフにしても、すいてかき  
にの心をように三行式<sup>三行式</sup>思想として  
ひなない。だが、いんうが論理的であるのに  
おいて、日本文の脱落は心理的である。おの  
み長くなってきたから、いこひ一脱落として  
うか、とい<sup>うた</sup>気が短気かすくなくない。

欧米の人はパラグラフ単位<sup>単位</sup>のものを考へか  
日本人はセンチコスも重ねて文章にする。ハ  
ラケラフを考へてゆくのは、<sup>必要</sup>に<sup>通</sup>して  
~~る~~、センチス式の脱落<sup>は</sup>、<sup>こ</sup>うしても

短冊は右のやすく、長いものを書くの比喩か  
 する、ひとこゝろ、堂々たる故の書き下ろし  
 乃と喧伝したのもそのためである。書き下  
 ろしが難しいから、あちこちへ書つたものを  
 集めて写し出すことか多くあるか、欧米では  
 そういふのを「西」と呼ぶといふようだ。  
 日本では伝説やあつても、パラグラフは  
 ない。あつたかといふか、このまま混雑が  
 多いのか。なかなが微妙なところでは  
 ない。